

## 大学教員の適正な年代構成及び職位構成の実現について

大阪教育大学は、我が国の先導的な教員養成大学として、教育の充実と文化の発展に貢献し、とりわけ教育界における有為な人材の育成を通して、地域と世界の人々の福祉に寄与するため、年代構成及び人材の多様性（ジェンダー、実務家、国籍、障害の有無等）を考慮した人事配置を進めています。

このうち、大学教員の年代構成については、教育・研究の質の高度化、地域社会への貢献、組織の活性化等を目的とし、教員養成大学の特色に配慮しつつ、中長期的観点から特定の年齢階層に大きく偏ることのないよう人事配置を進めていくこととしています。

また、職位構成についても、年代構成の適正化に伴い、大学の機能強化に資するバランスの取れたものとしていくこととしています。

### 1. 年代構成

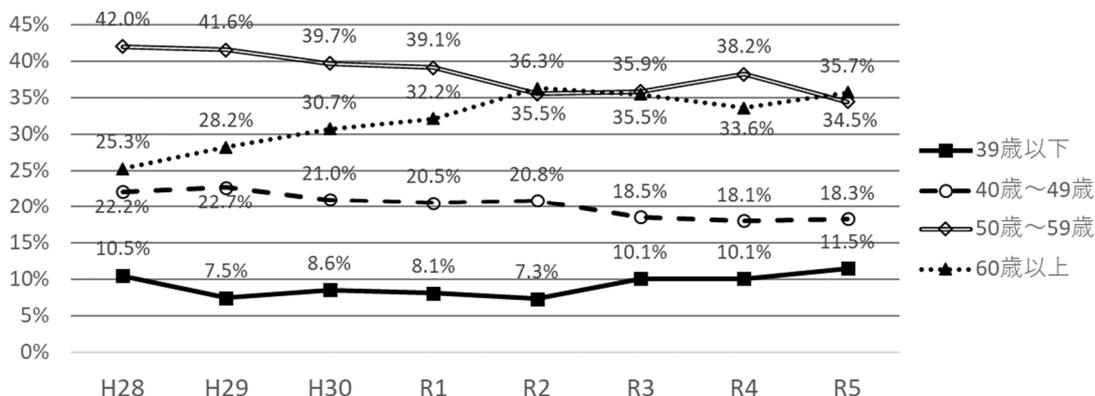
#### (1) 年代構成の目標

	39歳以下	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳以上
	20%	30%	30%	20%

#### (2) 年代構成の推移（実績）

中期期間	年度	39歳以下	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳以上
第3期	平成28年度	27 (10.5%)	57 (22.2%)	108 (42.0%)	65 (25.3%)
	平成29年度	19 (7.5%)	58 (22.7%)	106 (41.6%)	72 (28.2%)
	平成30年度	22 (8.6%)	54 (21.0%)	102 (39.7%)	79 (30.7%)
	令和元年度	21 (8.1%)	53 (20.5%)	101 (39.1%)	83 (32.2%)
	令和2年度	19 (7.3%)	54 (20.8%)	92 (35.5%)	94 (36.3%)
	令和3年度	25 (10.1%)	46 (18.5%)	89 (35.9%)	88 (35.5%)
第4期	令和4年度	24 (10.1%)	43 (18.1%)	91 (38.2%)	80 (33.6%)
	令和5年度	27 (11.5%)	43 (18.3%)	81 (34.5%)	84 (35.7%)

※ 各年度5月1日現在の在職状況（年齢階層別区分は年度末年齢による）  
外国人教師、特任教員（IV種・非常勤型）は含まない



### (3) 年代構成の将来推計 (第4期中期目標・中期計画期間の最終年度)

中期期間	年度	39歳以下	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳以上
第4期	令和9年度	17.0%	21.3%	29.4%	32.3%

※ 推計にあたっては、各年度の退職者（任期を付さない教員の定年退職者及び特任教員の最大任期満了者（テニュアトラック教員を除く））と同数を翌年度採用（採用者の年代構成の比率は、39歳以下50%、40歳～49歳20%、50歳～59歳15%、60歳以上15%）するものと仮定

## 2. 職位構成

### (1) 職位構成の目標

	教授	准教授・ 講師・助教	内 准教授	内 講師	内 助教
	50%	50%			

※ 職位構成の適正化は、年代構成の適正化に伴う結果として実現を図るものとする。  
（昇任基準の変更により増減を図るものではない。）

### (2) 職位構成の推移 (実績)

中期期間	年度	教授	准教授・ 講師・助教	内 准教授	内 講師	内 助教
第3期	平成28年度	150 (58.4%)	107 (41.6%)	91 (35.4%)	14 (5.4%)	2 (0.8%)
	平成29年度	152 (59.6%)	103 (40.4%)	88 (34.5%)	13 (5.1%)	2 (0.8%)
	平成30年度	154 (59.9%)	103 (40.1%)	86 (33.5%)	15 (5.8%)	2 (0.8%)
	令和元年度	153 (59.3%)	105 (40.7%)	86 (33.3%)	17 (6.6%)	2 (0.8%)
	令和2年度	151 (58.3%)	108 (41.7%)	88 (34.0%)	18 (6.9%)	2 (0.8%)
	令和3年度	143 (57.7%)	105 (42.3%)	82 (33.1%)	21 (8.5%)	2 (0.8%)
第4期	令和4年度	135 (56.7%)	103 (43.3%)	77 (32.4%)	25 (10.5%)	1 (0.4%)
	令和5年度	134 (57.0%)	101 (43.0%)	72 (30.6%)	29 (12.3%)	0 (0.0%)

※ 各年度5月1日現在の在職状況  
外国人教師、特任教員（IV種・非常勤型）は含まない

